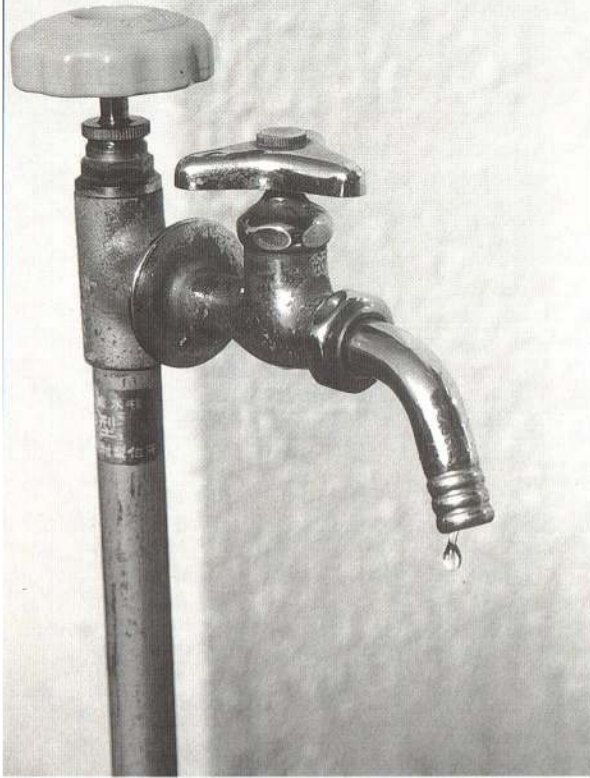


水道設備の冬支度は 万全ですか



各ご家庭では、もう冬への備えはお済みでしょうか。

寒さが厳しくなると心配なのが、水道設備のトラブル。冬場には、間違った操作やちよつとした油断から凍らせてしまうことなどがよくあります。

本格的な冬を迎える前に水道設備をしつかり点検・整備して、トラブルを未然に防ぎましょう。

〈凍らせないためには〉

- ①凍り止めの閉栓は、蛇口を全開にして行い、水が完全に下がってから蛇口を閉めてください。
- ②水道管がむき出しになっている部分には毛布などを巻いて、さらに、ぬれないようにビニールなどで覆ってください。
- ③床下換気孔は閉じてください。
- ④メーターボックスには、発泡スチロールなどを入れて防寒して

ください。

※蛇口や水道管に「凍結防止器」を取り付けるご家庭が増えています。便利な機械ではありませんが、誤った扱い方をすると火災を引き起こす危険性もありますから注意が必要です。取り付けの際には説明書をよく読んで、事故のないようにしましょう。

〈メーター周辺の除雪を〉

冬期間はメーターボックス周辺に雪が積もって検針ができなくなる、というご家庭もあります。この場合、水道管からの水漏れなどといったトラブルがあっても、発見が遅れてしまいがちです。

「水漏れとはいってもほんのちよつとの量だろう」と思いかも知れませんが、長い間気付かないでいると大変な量になってしまうもの。大切な家屋への影響も心配されます。後悔することのないよう、メーターボックスの周りにはきちんと除雪しておきましょう。

〈開閉栓は5日前までに〉

例年、年末年始には、引越しなどによる水道の使用開始・終了のお申し込みが大変混雑します。この時期のお申し込みは、五日程度前までにしてくださるようお願いいたします。

水道に関する

お問い合わせやお申し込みは

水道課 ☎42-4117へ

市長リポート

No. 126



「備えあれば憂いなし」

0-157被害の再発を防ぐ

今年五月、岡山県での集団食中毒の原因菌として認められて以来、全国的な広がりが見られた腸管出血性大腸菌「0-157」の猛威ですが、十月の下旬にこの大館市内でも感染の報告があったことは、非常に残念な出来事でした。不幸にして感染されたかたはもちろん、ご家族もさぞ驚かれたことでしょう。心からお見舞い申し上げます。

感染されたかたが大事にいたることはなく、また、現在まで二次感染などによる被害の拡大もないというのは、不幸中の幸いであるといえます。しかし、油断はできません。0-157は寒さに強いという研究報告があるほどですから、高温多湿の梅雨期にだけ警戒を厳重にすればいいというものではありませんし、無論、冷蔵庫を過信することもできません。

なぜ今回ほど大規模な流行を見たのか、その原因や感染経路等については未だに明らかではない点があり、心配なことは非常に多いのですが、0-157は、手洗いを励行することで感染及び二次感染をある程度防止できるといわれています。各家庭では帰宅時・用便後・調理前・食事前の手洗いを徹底してください。その他、調理の際には食材の衛生的な取り扱いに気を配ることなど、感染予防策については十一月十六日号の広報でご説明したとおりですが、やはり「備えあれば憂いなし」の一言に尽きます。要は衛生意識の再構築にあると思うのです。

市としても、学校や病院など、大量の食品を扱う部所での衛生管理には特に万全を期して、再び被害が発生することのないよう全力を注いでいきたいと考えています。

小畑 元